

市奨学金と、小中学校・城沼体育館の エアコン設置について

平井 玲子議員

質問 市の奨学金の返済方法は金融機関の窓口からのみとなっていますが、口座振替での対応について、どのようにお考えでしょうか。

答 口座振替は金融機関への手数料を市が負担することになり、費用対効果の面から導入について考えていく必要があると思います。

質問 市内に住んでいる保証人が2人必要とありますが、市内に身内がない方にも利用しやすい制度にするお考えはありますか。

答 保証人のあり方やその他の条件等について見直しを図り、貸与条件の緩和に努めてまいります。

に、学生の地方定住、就職を促す奨学金支援制度について、どうお考えですか。

答 有能な人材の地元定着を促す上で有効な手段と考えています。今後、関係部署との調整を図りながら、研究してまいります。

要望 国は自治体が奨学金の返還支援のために基金を設けた場合、特別交付税を措置する仕組みを導入しています。いろいろな制度をフル活用し、Uターンのみならずターンのも含め、若

者から選ばれる市を目指したいと考えます。館林市の発展と人口増加のため、奨学金支援制度の創設を要望いたします。

質問 市内小中学校のエアコン設置率は、普通教室100%に対して特別教室は37・1%です。特別教室への設置の考えを伺います。

答 学校からの要望と学校施設の老朽化対策を踏まえ、検討してまいります。

質問 学校体育館へのエアコン設置についての考えは。

答 国の動向を注視しながら、研究してまいります。

質問 城沼体育館へのエアコン設置についての考えは。

答 城沼体育館は築37年が経過した施設ですので、施設の老朽化対策と併せて研究してまいります。

要望 学校体育館と同じく城沼体育館も避難所に指定されており、国の緊急防災減災事業債を活用すれば実質的な市の負担は三分の一となります。老朽化対策も含め、設置を要望します。

本市の防災対策について

今野 郷士議員

質問 地球温暖化や気候変動の影響などにより、過去に経験のないような想定外の自然災害が発生しておりますが、これまで本市で起きた風水害の被害状況や対応についてお伺いします。

答 中小河川の浸水被害では、鶴生田川と宮田川において、計5回、合計で3

57戸の家屋の浸水被害が発生し、河川管理者であります群馬県や市により拡幅や排水ポンプの設置などの整備が行われてきました。台風による被害では、平成29年の台風第21号により、

軽傷者1名のほか、倒木や停電、床下浸水など多くの被害が発生したため、市で

は災害警戒本部を設置し、各所管部署が現場対応に当たるとともに、保健福祉センターに自主避難所を開設しました。また、今年9月の台風第24号では、倒木などの被害が発生したため、災害警戒本部を設置するとともに、保健福祉センター、六郷公民館、多々良公民館の3か所に自主避難所の開設を行いました。

質問 年間を通じて様々なイベントが実施されていますが、自然災害情報等につ

いて、市民の方々やイベント主催者にどのように伝えられているのか、お伺いします。

答 台風接近の際には、大雨洪水タイムラインに基づき、市ホームページやツイッターで早い段階から情報を発信し、最新の気象情報を確認するとともに、台風への備えや不要不急な外出を控えることを市民の方に押し注意喚起をいたします。併せて、施設管理者からもイベント主催者には

情報提供を行っています。

質問 市長の政策目標の一つとして、災害時の危機対応能力の高いまちを目指すこととありますが、今後の防災対策における具体的な取り組みについてお伺いします。

答 今年度から防災マップ作りや災害時要支援者対策などを踏まえた「地区防災計画」の策定を推進しており、まずは、赤羽地区と渡瀬地区で進めており、今後は、市内全域に広めていく予定であります。